

自らの人生の開拓者であれ！

学 長 安 酸 敏 眞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。二年半の長きにわたって続くコロナ禍のなか、皆さんは懸命に自粛生活に耐え、見事に大学入学の栄冠を手にされました。かつては「狭き門」などと評された大学入試ですが、ユニバーサル化といわれる現在では進学先を選ばなければ、入れる大学はどこかにあろうかと思います。しかし本学に入学することは今でもそれほど容易くはありません。皆さんは本学への入学を志望され、自らの目標を達成するために、一生懸命たゆまず勉学に励まれたがゆえに、本日のこの入学式に至ったものと推察いたします。今日から皆さんは正真正銘北海学園大学の学生ですので、その誇りと自覚をもってこれからの大学生活を過ごしてください。

皆さんが入学された北海学園大学は、一九五〇年に産声を上げた北海短期大学を前身として、一九五二年に創立されました。ですから、短期大学の誕生から起算すると、今年で七二年目になります。しかし母体となる学校法人北海学園自体は、一八八五(明治一八)年に礎石が据えられましたので、そこを起点とすれば今年で一三七年目となります。言うまでもなく、北海道では最古最大の私立学校法人です。ちなみに、学校法人の古さとしては、例えば東京の有名な私立大学である中央大学と同じであり、あの早稲田大学にはわずかに三年後れをとっているだけです。そこに戦後に創立された新興大学であるにもかかわらず、古豪と見なされる所以があります。

現在、北海学園大学には経済学部、経営学部、法学部、人文学部、工学部の五つの学部があり、その上には五つの大学院研究科と、一つの専門職法科大学院法務研究科があります。在学生約八千名、卒業生約九万一千名を数えますので、名実ともに北海道最大の私立総合大学といえます。大学の施設としては、地下鉄「学園前」と直結の豊平キャンパス、工学部がある山鼻キャンパス、各種競技ができる広大な清田グラウンド、そして少し離れていますが道東の北見キャンパスを擁しています。道内のいろいろな自治体や企業とも包括連携協定を結んでいますので、その活動は道内全域に及んでいると言っても過言ではありません。

本学の建学の精神は、「開拓者精神」(Pioneer Spirit)です。北海道開拓に由来するこのスクールモットーは、しばしば「二つのじりつ」、すなわち自分の足で立つという意味の「自立」と、自分で自分を律するという意味の「自律」、によっても言い表されます。つまり英語で言えば、independence と autonomy です。未知の世界に勇猛果敢に挑戦するこの精神は、混迷を深める今の時代にますます求められるものではないでしょうか。かかる建学の精神に

基づいて策定された「北海学園大学ミッション・ビジョン」に表明されているように、北海学園大学は、(1)北海道の知の拠点、(2)可能性に開かれたカリキュラム、(3)多様性に開かれたキャンパス、(4)活力ある教職員の協働体、を実現することを目指しています。皆さんもこの協働体に新たに加わった一員として、北海学園大学の成長と発展に是非ご協力ください。

さて、皆さん一人ひとり、どのような未来予想図を描いていますか？皆さんには大きな夢を抱いてさまざまな可能性に挑戦して欲しいと願っています。大学の四年間は、教養や専門知識を身につけ、総合的判断力や問題解決能力を磨き、各自の未来予想図を下書きする貴重な期間です。この時期にたとえ概略的であっても、自分なりの未来予想図を思い描き、また自ら設定した目標に向けて努力をするか否かで、その後の人生は大きく異なってきます。また生涯の友となる学友や、生涯の師と仰ぐ教師との出会いは、一生の宝となるはずですので、自分の殻に閉じ籠ることなく、多くの人と触れ合ってください。いずれにせよ、自分をあまり狭く限定しないで、いろいろな可能性に挑戦してみてください。あらかじめ決まった人生なぞ存在しません。人間とはかくあらんと欲する存在です。たとえ障害や困難があったとしても、ひとは自分の人生を自ら切り拓いていくことができるのです。皆さんには是非ともそういう意味での「自らの人生の開拓者」であって欲しいと願っています。

最後にもう一度、わが北海学園大学へのご入学ほんとうにおめでとうございませう。これらの四年間が充実したものとなるよう祈念して、学長の式辞といたします。